

バランスボールでころがしドッジ

遊び方

- ① 内野と外野に分かれる。各々、線を越えない。
- ② 外野の子はバランスボールを転がして、内野の子に当てる。投げてはいけない。ボールが弾んでいたらアウトにならない。
- ③ 元々の外野の子は、内野の子に当てたら(かすただけでも)一度だけ内野に入れる。
- ④ 内野の子は、ボールに少しでも触れたら(キャッチしても)アウト。
- ⑤ 元々の内野の子は、当てられたら外野に出る。
- ⑥ 周りを見ずにぶつかって、他の子を倒してしまった子はアウトになる。

準備物

- バランスボール(直径55cm)



【配慮したところ】

- 周りの子にぶつかったり、足を踏んだりしないよう声がける。
- ボールが重いので、転がすときや受けるときに手を痛めないよう外野に声がける。
- 片手でボールを打つと手を痛めやすいので、打つのでなく押して動かすよう声がける。
- 安全のため、内野の人数が多くなりすぎないようにチーム分けなどする。(内野10人程度)
- 空気を入れすぎると当たったときの衝撃が強いので、入れすぎない。